



報道機関 各位

糖尿病患者さん向け 災害時に必要な情報をまとめたリーフレットが完成

2020 年 3 月 11 日

公益社団法人日本糖尿病協会

公益社団法人日本糖尿病協会（理事長：清野裕／関西電力病院総長 所在地：東京都千代田区）は、糖尿病患者さんに防災意識を高めていただくことを目的に、災害が発生する前と後の両方で役立つリーフレットを制作し、ホームページでの無償提供を開始しました。

■リーフレットの概要

リーフレットには、糖尿病患者さんが災害から身を守るために必要不可欠な情報が、A4 サイズの紙に両面カラーで印刷されています。

表面は、「災害に備える」をテーマに、薬剤等の非常時携行品リスト、薬剤の名称や避難所情報、地域の災害拠点病院の連絡先記入欄に加えて、災害発生時における糖尿病管理の心得を掲載しました。裏面は、「避難生活を乗り切る」をテーマに、食事と運動のワンポイントアドバイスをイラスト入りで掲載しています。

■リーフレットの特徴

必要な情報を A4 サイズ 1 枚にコンパクトにまとめ、それを四つ折りにして、糖尿病患者さんが日々持ち歩く「糖尿病連携手帳」（日本糖尿病協会発行）に挟み込んで携帯する点が最大の特徴です。

糖尿病連携手帳は、日頃の治療や検査内容を記入する手帳として、年間約 200 万部発行され、医療機関を通じて患者さんに配布されています。これまで手帳には災害対応の情報が掲載されていませんでしたが、このリーフレットを挟むことで補完することができ、平時も非常時も有効活用できる手帳に変わります。また、新しい手帳に切り替える際も、リーフレット部分はそのまま移行できるため、情報のポータビリティにも優れています。

さらに、災害時はアナログツールが有効であることも判明していることから、当協会では避難時に糖尿病連携手帳を必ず携行するよう呼び掛けていますが、そこにこのリーフレットを挟み込むことで、事前の準備だけでなく、万一避難生活が長期化した場合も、リーフレット裏面の避難生活のワンポイントアドバイスを体調管理に役立てることが可能です。

このリーフレットを多くの糖尿病患者さんにダウンロードしていただき、普段から繰り返し目を通すことにより、災害を乗り越える力を身につけていただきたいと思います。

PRESS RELEASE

リーフレットは、日糖協 HP「災害にあったときは」のコーナーからダウンロードできます。



■公益社団法人 日本糖尿病協会について

日本糖尿病協会は、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、患者及びその家族への療養指導、国民の糖尿病予防、健康増進への調査研究を行うことを目的に、1961年（昭和36年）に結成されました。現在の会員数は、110,000人。糖尿病患者とその家族、医師、看護師・栄養士・糖尿病療養指導士などの医療スタッフおよび糖尿病に関心のある一般市民で構成されています。47都道府県の糖尿病協会と連携するほか、全国に約1,600の糖尿病「友の会」を置き、患者間の交流や、地域社会への糖尿病啓発活動を通じて、日本の糖尿病の抑制を目指しています。1987年（昭和62年）に社団法人となり、2005年（平成17年）に特定公益増進法人、2013年4月（平成25年）からは公益社団法人になりました。

◇本件に関するお問い合わせ◇

公益社団法人日本糖尿病協会 担当：堀田

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-2-4 8F

TEL : 03-3514-1721 FAX : 03-3514-1725 email : hotta@nittokyo.or.jp

www.nittokyo.or.jp / facebook.com/nittokyo